

発行 豊頃町  
〒089-5392  
中川郡豊頃町茂岩本町125番地  
☎015(574)2216  
発行日 2013年4月1日  
編集 豊頃町企画課広報情報係

今月の表紙



今月の表紙は、3月15日に行われた豊頃中学校の卒業式の様子です。後輩たちの暖かい拍手に見送られ、大きな希望を胸に、母校を巣立って行きました。

役場などの連絡先

- ◆役場  
☎(574)2211(代表)・FAX(574)3750(総務課)
- ◆各課等(ダイヤルイン)  
総務課 .....☎(574)2211  
出納室 .....☎(574)2212  
住民課 .....☎(574)2213  
福祉課 .....☎(574)2214  
施設課 .....☎(574)2215  
企画課 .....☎(574)2216  
産業課 .....☎(574)2217  
農業委員会 .....☎(574)2218  
議会事務局 .....☎(574)2222  
教育委員会(教育課) .....☎(579)5801  
(図書館) .....☎(579)5802
- ◆支所・出先機関・町内関係機関  
大津支所 .....☎(575)2021  
こどもプラザとよころ .....☎(574)3931  
給食センター .....☎(574)4600  
社会福祉協議会 .....☎(574)3143
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口  
NTT 東日本データセンター ☎0120(860)023  
[24時間 365日受付]

ホームページ

豊頃町  
<http://www.toyokoro.jp/>  
豊頃町社会福祉協議会  
<http://www.h3.dion.ne.jp/~toyo-sha/>

豊頃町の人口と世帯

2月28日現在(前月比)  
住民基本台帳に基づく  
人口 3,496人(-2)  
男 1,669人(-3)  
女 1,827人(+1)  
世帯 1,504世帯(-2)

町内の交通事故

平成25年1月1日  
~3月10日(前年比)  
交通事故死ゼロ43日  
発生 1件(+1)  
死者 2人(+2)  
傷者 0人(0)

目次

CONTENTS

- 02 クローズアップ人  
書道家 高橋 政一 さん
- 04 平成25年度予算の概要
- 06 Info-TOPICS ①「産業振興事業を支援します」
- 08 Info-TOPICS ②「4月14日は豊頃町長選挙の投票日です」
- 09 Info-TOPICS ③「平成25年4月から難病等の方々  
が障害福祉サービス等の対象となります」
- 10 Info-TOPICS ④「国民年金からのお知らせ」
- 11 Info-TOPICS ⑤「平成25年度介護保険料額と納付  
方法のお知らせ」
- 12 Info-TOPICS ⑥「豊頃町定住促進等住宅取得補助  
事業のご案内」
- 13 Info-TOPICS ⑦「平成25年度町外通勤者助成金のご案内」  
Info-TOPICS ⑧「平成25年度豊頃町住宅用太陽光発電シ  
ステム導入補助金のご案内」
- 14 はるにれは見ていた「卒業式」 ほか
- 18 健康だより「40~74歳国保の方へ 特定健診のお知らせ」
- 19 駐在だより「山菜採りによる事故防止」ほか  
豊頃医院だより「糖尿病の治療について」
- 20 みんなの図書館「図書館を気軽に使ってみる」 ほか
- 22 報徳のおしえに学ぶ「シリーズ 報徳のおしえを暮らしに①」  
ダイナ ダイジェスト
- 23 町民文芸 - 人事異動
- 24 INFORMATION ◎目次あり  
主な施設の行事予定 ほか



3月21日、商工会女性部がえる夢館を訪れ、図書の寄贈を行いました。女性部長の松井美沙子さんは「いろいろな世代向けに選びました。本を読んで、情緒豊かな子どもに育ってほしいです」と話しました。

ク  
ロ  
ー  
ズ  
ア  
ッ  
プ

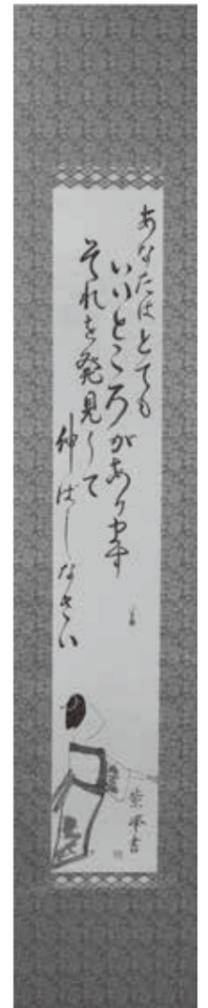


高橋 政一 さん

Profile たかはし まさいち  
昭和12年2月6日生まれ。豊頃町二宮出身。4月22日まで、える夢館で高橋さんが書き溜めた作品による書道展が開催されています。

字は、その時の自分の心を映し出す

「字を書いているときはその時の精神状態が字に表れます。精神統一するには最適ですね。そう話すのは、現在える夢館で書道展を開催している高橋政一さんです。もともと趣味で写経をやっていた高橋さんは、平成17年に豊寿大学書道科に入学したことを機に書道を本格的に始め、現在日本習字の段位は『すべてへの高度な実技指導力を有するもの』に与えられる漢字部5段。これまでに日本習字に添削された作品はファイル3冊分にも上ります。忙しい農業の合間を縫って1日2時間ほど練習し、毎月2、3枚の作品を書き上げるそうです。「書道というのは、今日できないから明日続きをやる、という訳にはいかないんですよ。途中でやめると、字が変わってしまふんです」と話すように、書き始めたら必ずその日のうちに書き上げてしまいます。大掛かりな作品になると半日かけて書き上げることもあるそうです。



▽高橋さん自らが書き上げた挿絵入りの作品。書だけでなく、幅広い才能が垣間見られます。

どの作品を見ても躍動感のある作品たち。ただ見本を書き写すというだけでは必ず自分なりのアレンジを加えると言います。「前に進んでいくんだ、という勢いのあの字の形が好きですね。例えば『川』や『風』だとかを書くときは、その動きをイメージして書きます」。作品展にも積極的に出品しており、平成23年に日本習字の最高賞、『観峰賞』を2つ獲得して以来、毎年獲得し続けその数は5つにも上ります。「銅、銀、金と獲得していったら観峰賞が貰える」と話すように、高橋さんの今の実力は地道な努力の結果です。「目標があると、人生が楽しい」と若々しく話す高橋さん。「次は平仮名に挑戦したい」とまだまだ書道に対する情熱はとどまることを知りません。